

スローライフだより 83

~Think globally, act locally~

第83号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1
TEL/FAX 0985-62-4233
<http://www.slow-life.or.jp>



6月5日(木)
生目小5年生
学習田の田植えを晴天の中
行いました！！



行事報告

5月	15日	監査会（令和6年度分決算書 事業報告書）
	17日	生目の杜運動公園円形プロムナード花壇・鉢 植栽（松葉ボタン）
	20日	生目の杜運動公園南ゲート（柏原）出入り口花壇
	21日	令和7年度 第1回三役会
	22日	令和7年度 第1回役員会
	29日	スローライフ宮崎第22回通常総会
	30日	生目小学校田植え前授業
6月	5日	生目小学校5年生学習田田植え
	11日	令和7年度 第2回三役会
	16日	令和7年度 第2回役員会
7月	4日	令和7年度 第3回役員会



第22回 スローライフ宮崎通常総会



5月29日（水）に下富吉公民館において、第22回通常総会が行われました。出席者40名（うち委任状出席者4名）でした。議長に谷口治男氏を選出し議事を進めました。
会員の皆さまのご意見を直接お聞きすることができ有意義な総会となりました。ありがとうございました。

- 第1号議案 令和6年度事業報告・収支決算書・貸借対照表・財産目録の承認について
- 第2号議案 令和7年度入会金・年会費承認について
- 第3号議案 令和7年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
- 第4号議案 役員改選について



令和7年度役員

理事長 横山森雄
副理事長 谷口 直
// 谷口章次
理事 井上安信
// 中村政治

理事 横山益夫
// 木下和代
監事 内田稔也
// 赤塚正人

以上の通り理事長1名・副理事長2名・理事4名・監事2名で、2年間運営していきます。
どうぞよろしくお願いいたします。



良い教師を紹介します！



ゆたかな時代の子育てを考える

飛田 洋

「黒板に向かい育てられ、黒板を背にして半世紀を過ごした」私の人生。そんな私は、「最高の先生はどんな先生？成功率の高い『子育ての方法』は何ですか？」と機会あるごとに質問を受ける。

国が実施する全国学力テストで、常に上位であり続けた代表的な県秋田の「最高の教育」を求めて同地の複数の学校や教育委員会等を視察した。公的な視察で驚くようなヒントを得たとは思えなかったが、宮崎と比較して街が何か違う。高層の住宅（いわゆるマンション等）がほとんどないことに気付いた。思い切って尋ねてみた。「北国であればマンション暮らしは雪かきなど不要で人気があるのではないですか？」と。それに対して地元の方の次の言葉に驚いた。「雪かきの楽な暮らしより、祖父母との同居や地域との繋がりの中で暮らすことを秋田県民は大切にしています。」私はその答えに秋田県の子育ての底力を感じた。「人の中でこそコミュニティの中でこそ」子どもは育つ。

ところで近代日本の歴史の中で「子育て教育」の最大の転換点はどこだろうか。明治維新、第二次大戦もあるが、それ以上の大変革が高度経済成長（昭和40年前後）ではないかと思えてならない。「効率や経済性を最優先する価値観」こそ、その転換点の最大ポイントではないのか。教育にもその転換点はつながる。高度経済成長を境に、伝統的に大切に続けてきた「素晴らしき教育風土＝欠乏や貧乏・困難・苦労等大切にすべきもの」を気づかぬまま、意識せぬまま失ったのではないか？

「人づくり」は、人類が「ホモサピエンス」として直立2足歩行を開始してから数十万年もつづく仕事。外部環境がどう変わろうと、人間の遺伝子はほとんど変わらない。古典の価値や人間性が何か変わらない。人間が共同生活をしなければ生きられないことも変わらない。それが変わったという勘違いが高度経済成長ではなかったか。「しつけの基本」や教育で大切にすべき「不易」の部分はどの時代が変化しても変わらず、普遍であると確信する。昭和40年代以降、平成、令和、その時代は、ある意味で人類史上最もゆたかな特別な時代でもある。そのことを踏まえると現在進行中の少子化等や教育の課題は、次に述べるようなことに原因があるような気がしてならない。

- ①幼少期に集団の中で育っていない。「兄弟姉妹や近所のガキ大将」など仲間とせめぎ合いの経験、もめた後の仲直りの経験をしていない。他人と折り合う訓練の欠如の時代
- ②苦労経験、困難の経験が少ない。肉体労働等の困難を超えて成し遂げた経験がほとんどない。基礎体力と忍耐力が何よりも生きるための力であり基礎でもあるが、その実感が少ない時代
- ③足りない経験、がまん経験、耐えた経験が少ない。不足は工夫や創造のエネルギー。必要に迫られることから、わき出る学びの機会を失った時代、飢え暑さ寒さからの解放で快楽原則に従う楽で危ない環境を入手しやすい時代
- ④子ども時代に家庭や地域で役割を与えられたことが少ない。共同意識形成の欠如や他者貢献経験の欠如で、自分が社会に貢献できる存在であることに気づけない時代

「母は食べずとも子どもに与える時代」を美化し再度そんな時代に向かえばいいと希望するわけではない、生きるための力を付ける最高の教師は「逃げ場のない困難」の中にこそいると確信する。「やらないといけなことを必ずやり遂げること。やってはいけないことは何があってもやらないこと」この2つの耐性を鍛えることと、その基礎となる「体力」や「他の方とつながり、その痛みや悩みをも感じる力」も鍛えたい。ゆたかな時代だからこそ、それらを意識し子ども達を育てたい。



就任のご挨拶



NPO法人スローライフ宮崎 理事長 横山 森雄

先の通常総会にて理事長と言う大役に選出され、その責任の重さに今、身の引き締まる思いです。前長谷川理事長、ほんとうに長きに渡り持続可能なNPOの確立の為、全身全霊身を粉にして努力して頂いたことに対し心より敬意を表しご苦勞様でしたと申し上げたいと思います。

さて、新体制の基に令和7年度の事業が始まりましたが、スローライフ宮崎の事業事態は何ら変わることはありません。理事の皆さまはもちろん、それぞれの事業の中で汗を流していただてる会員の皆さまのご協力によって通常総会で承認いただいた事業を確実に消化して行けるよう、皆様と努力して行かなければと思っています。

地域に根ざした活動、ボランティア清掃やめがね供養祭、そして小学校学習田活動はNPOとしての基本部分。また、生目の杜運動公園の駐車場料金徴収業務、花壇管理業務、あるいは市民農園活動等を通じて、ふるさと生目に何らかの形で寄与していけるよう努力して行くつもりです。

どうか、各関係機関の皆さまのご理解とご支援をいただきますよう、心よりお願いを申し上げます就任の挨拶とします。



NPO法人スローライフ宮崎 副理事長 谷口 直

私事ですが、約40年間金融機関に勤務していました。長年勤務したことにより私自身勉強にもなることが多々ありました。そのなかで取引先の顧客を多く知ることが出来ました。現在もいろいろな繋がりを持っています。仕事面では[現金その場限り]の教えを頂き迅速・正確をモットーに業務に携わってきました。長年勤務出来たことで、お客様からの信頼・信用を得られたと自負しています。前職で定年まで働かせてもらった事に大変感謝しています。

定年後は約15年間NPO法人スローライフ宮崎でパート業として勤務しています。私の担当業務は生目の杜運動公園で料金徴収担当者として業務に携わっています。徴収業務担当者として公園施設で利用された方々が、笑顔で帰って頂けるよう心掛けています。また、料金徴収時において、迅速・正確をモットーに業務に励んでいます。毎月第1火曜日に料金徴収担当者全員参加のもとミーティングを開催し、お客様からの要望や業務内容について、問題点の改善に向けた話し合いを行っています。

この度令和7年度通常総会でスローライフ宮崎の副理事長に再任されました。これからも公園内の利用者が笑顔で帰れるよう、料金担当者全員が仕事に集中して、お客様とのトラブルが発生しないよう全員一丸となって勤めていきたいと思っています。

副理事長として他の役員はもとより職員の方々と、意思の疎通を図りながらスローライフ宮崎が益々発展していくよう、事業活動に精一杯取り組んでいきたいと考えています。



NPO法人スローライフ宮崎 副理事長 谷口 章次

日頃よりNPO法人スローライフ宮崎へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。
この度、副理事長に就任いたしました谷口章次と申します。
12月生まれの現在68歳、宮崎市跡江に住んでおります。
私の座右の銘は、「継続は力なり」ですが、三日坊主の私には達成するのがなかなか難しく、
いつも悔やみの連続です。

私がスローライフ宮崎と出会ったのが、2021年でしたので5年前になります。
その間、生目の杜運動公園駐車場料金徴収係（キャンプ時の忙しさ）、生き活き市民農園（市民農園）の草刈（雑草の伸びは早い）、めがね供養祭（めがねは体の一部）、食育の一環である生目小学校田植え・稲刈り授業（子どもと共に成長）、花壇整備（心和む）等先輩方々よりご指導を賜り、様々な経験をさせて頂き、微力ながら生目地区に対し貢献できているのだと実感しております。

また、入会1年後新型コロナウイルスが世界に蔓延し、政治経済を始め全ての活動に影響を及ぼした時期もありました。もちろん我々法人にも大きく影響し、駐車場料金徴収業務など一部活動を休止した時期もありましたが、解散することなく継続されて来ました。

皆様方のご協力のおかげだと思っています。

まさしく2015年9月25日、国連総会で採決されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するとあるように、目標に向かった地域活動が出来ていると感じております。

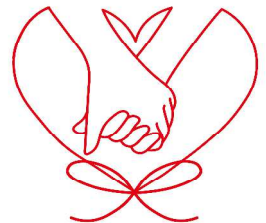
NPO法人スローライフ宮崎は前理事長長谷川五一氏が設立され23年間の歴史が刻まれておりますが、その経緯の中には様々なご苦労があったかと察してなりません。

この法人を立派に運営され生目地域に大きな根を張り大樹を育てて来られましたが、この度理事長職を退任される事となり残念な気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

「長年ご苦労様でした。ありがとうございました。」

今後は、横山理事長を筆頭に新たな理事会メンバー、会員の皆様とコミュニケーションを図りつつ、透明性のある法人「何でも話せる場、生きがいのある場」をモットーに地域に貢献できる組織として、スローライフ宮崎が果たす役割をしっかりと考え法人の進展、発展の為に尽くして参りたいと考えております。

若輩者ではありますが、皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げまして、新任の挨拶とさせていただきます。





生目小学校5年生 学習田 田植え事業



田植え前授業「5月30日」

5月30日に田植え前授業を行いました。お米が育つには水・温度・光が必要であることや、苗の植え方などを5年生の生徒さんにお話ししました。実際どのように植えていくのか苗を手にとって田植えのシュミレーションをしました。



田植え「6月5日」

6月3日に予定していました田植えですが、3日が雨天予報だったので6月5日に変更し実施しました。まず田植え機での苗植えを見てもらいそれから手植えを行いました。子どもさんが田んぼに入ると歓声が響いていました。秋には美味しいお米が収穫できることを願っています。



生目の杜運動公園円形フロムナード



円形花壇に松葉ボタンを植栽いたしました。(5月17日)

数日かけて前回植栽した花を抜き土壌を消毒し耕して松葉ボタンを植栽しました。今年は梅雨が明けるのが早く、暑い日が多くなり雑草が伸びるのが早く、酷暑の中での雑草処理の作業をする日が多くなりました。これも公園を利用して下さる方々がきれいな公園だと思っていただけるように暑い中の作業を頑張らせていただいています。南ゲートの南側出入口近く(柏原側)には松葉ボタンとナデシコを植栽しました。

8月～10月の予定

10月 10日	めがね供養祭
10月 中旬	生目小学校学習田稲刈り
10月 27日	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃

委託業務関係

8月～10月		
毎月第1火曜日	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第3火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
※ 駐 車 場	土、日、祝日、キャンプ期間中	駐車場料金収納・送迎車両受付 (10:00～18:00)
※ 花 壇 管 理	随 時	

お便り大募集！ 84号(10月発行予定)、85号(1月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしています。

(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



令和7年5月29日のNPOスローライフ宮崎の第22回通常総会で理事長職を辞することになりました。みなさんには23年間大変お世話になりました。横山森雄理事長外、優秀な6名の理事のみなさんで新たな歴史を築いてほしいと考えています。「スローライフ便り」とか市民農園の管理、事務所周りの日常の軽い作業など元気なうちはお邪魔でない限りお手伝いをしていきたいと思っています。最後に老婆心ながら一言いわせてもらおうなら、理事のみなさんにお渡しした8ページあまりの特定非営利活動促進法解説を十分に読みこなし、この促進法に沿って運営していただければまちがいないと信じています。楽しく頑張ってください。

(長谷川・・・7月17日)